

令和3年度決算状況(決算カード)

国勢調査	人口(人)		都道府県名	所在地	〒613-8585 京都府久世郡久御山町島田ミスノ38番地				歳入の状況				歳出の状況				特別職の給料等			
	令和2年	15,250			京都市	所在地	〒613-8585	市町村類型	IV-1	区分	令和3年度	構成比	経常一般財源等	区分	令和3年度	構成比	一般財源等	区分	給料(報酬)	改定日
	平成27年	15,805	コード番号	263222		久御山町	交付税種地区分	IIの地域-6	千円		(%)	千円	(目的別)		千円	(%)	千円		(月額)円	
	比較	▲ 555	面積(平方Km)	人口密度	産業構造			市町村民税	個人	均等割	27,568	0.3	27,568	議会費	119,164	1.5	119,164	町長	800,000	H26.4.1
	世帯数	6,322	13.86	1,100.3	就業人口(人、%)	第1次	第2次		第3次	所得割	731,981	8.5	731,981	総務費	1,588,581	19.5	1,421,823	副町長	670,000	H26.4.1
	人口(人)	15,511	人口集中地区人口		R2国調	515	2,168		4,360	均等割	220,995	2.6	220,995	民生費	2,989,755	36.7	1,679,749	教育長	625,000	H26.4.1
住民基本台帳	男	7,699	(人)			7.3	30.8	61.9	法人税割	469,927	5.5	469,927	衛生費	605,200	7.4	460,949	議会議長	375,000	H26.4.1	
	女	7,852	R2	11,749	H27国調	611	2,219	4,665	計	1,450,471	16.9	1,450,471	労働費	3,451	0.0	451	議会副議長	310,000	H26.4.1	
	世帯数	7,171	H27	11,737		8.2	29.6	62.2	固定資産税	2,851,437	33.2	2,851,437	農林水産業費	121,932	1.5	86,613	議会議員	280,000	H26.4.1	
*住基台帳の数値は、R4. 1. 1現在								軽自動車税	66,344	0.8	66,344	商工費	205,857	2.5	119,794	監査委員	395,000	議見		
区分	令和3年度	令和2年度	区分	各種財政指数等(単位:千円・人・%)				市町村たばこ税	241,549	2.8	241,549	土木費	646,721	8.0	431,080	議員	222,000	議会		
	千円	千円		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	備考	都市計画税	304,698	3.5		消防費	350,008	4.3	346,077	職員給の状況等(千円)			
1. 歳入総額 A	8,595,579	9,836,115	基準財政需要額	3,682,502	3,496,893	3,319,793	3,363,343	町税合計	4,914,499	57.2	4,609,801	教育費	1,098,012	13.5	831,247	令和4年4月給料支給総額	人数			
2. 歳出総額 B	8,147,317	9,497,385	基準財政収入額	3,844,523	4,097,767	3,788,335	3,715,249	地方譲与税	53,878	0.6	53,878	公債費	418,636	5.1	418,636	一般職員(消防)	10,464	38		
3. 歳入歳出差引額 (A-B) C	448,262	338,730	標準財政規模	5,000,898	5,340,508	4,944,408	4,847,457	利子割交付金	1,737	0.0	1,737	計	8,147,317	100.0	5,915,583	一般職員(本庁)	38,207	124		
4. 翌年度へ繰り越すべき財源 D	45,871	35,906	財政力指数	1.119	1.139	1.118	1.107	(平均)	株主等譲渡所得割交付金	19,769	0.2	19,769	(性質別)	令和3年度	構成比	経常一般財源等	教育公務員	11,516	42	
				1.044	1.172	1.141	1.105	(単年)	地方消費税交付金	554,610	6.5	554,610	人件費	2,401,440	29.5	2,241,658	技能労務職員	3,629	11	
5. 実質収支 (C-D) E	402,391	302,824	実質収支比率	8.0	5.7	6.7	4.2	自動車取得税交付金	4	0.0	4	(うち職員給)	1,215,335	14.9	1,171,483	計	64,416	217		
6. 単年度収支 F	99,567	▲ 30,103	経常収支比率 (減税・臨財債除)	82.0	82.3	84.5	87.7	自動車税環境性能割交付金	6,856	0.1	6,856	物件費	1,113,387	13.7	849,218	職員平均給料額(円)	296,848			
				82.0	82.3	84.5	87.7	法人事業税交付金	117,299	1.4	117,299	維持補修費	86,448	1.1	81,175	職員平均年齢	39.6			
7. 積立金 G	370,998	221,764	公債費比率					地方特例交付金等	115,625	1.4	107,481	扶助費	1,246,223	15.3	338,579	基金年度末残高(単位:千円)				
8. 繰上償還金 H			起債制限比率					(単年) 地方交付税	17,776	0.2		補助費等	744,500	9.1	661,968	財政調整基金		3,066,895		
9. 積立金取崩し額 I		10,694						(平均) 交通安全対策特別交付金	5,344	0.1	5,344	普通建設事業費	799,789	9.8	250,677	公共施設建設基金		468,261		
10. 実質単年度収支 (F+G+H-I) J	470,565	180,967	地方債残高比率	73.1	68.4	72.8	75.6	分担金及び負担金	16,665	0.2		(補助事業)	312,835	3.8	51,950	地域福祉基金		169,423		
				積立金現在高	3,925,420	3,402,740	3,038,134	2,765,174	使用料	94,983	1.1	40,761	(単独事業)	486,954	6.0	198,727	国際交流基金		64,136	
				地方債現在高	3,656,018	3,652,831	3,597,469	3,662,270	手数料	11,332	0.1	331	(その他)				その他		156,705	
水道事業会計 (単位:円)			債務負担行為残高	243,119	340,495	282,035	111,491	国庫支出金	1,203,568	14.0		公債費	418,636	5.1	418,636	計		3,925,420		
項目	歳入	歳出	差引	ラスパイレズ指数	99.5	99.8	99.1	99.2	府支出金	422,144	4.9		(元金償還額)	402,413	4.9	402,413	特別会計の状況(単位:千円)			
3条	632,340,994	618,968,413	13,372,581	職員数(n+1年4月1日)	219	219	220	220	財産収入	3,545	0.0	17	(利子償還額)	16,223	0.2	16,223	会計名	歳入総額	歳出総額	
4条	92,793,000	244,088,417	▲ 151,295,417	住基人口(3月1日)	15,515	15,778	15,922	16,056	寄附金	81,011	0.9		積立金	531,866	6.5	471,785	国民健康保険	1,906,409	1,862,354	
計	725,133,994	863,056,830	▲ 137,922,836	健全化判断比率	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	繰入金	50,970	0.6		投資及び出資金	92,656	1.1	92,656	三郷山財産区	22,308	21,378	
下水道事業会計 (単位:円)			実質赤字比率	-	-	-	-	繰越金	338,730	3.9		貸付金	81,672	1.0		介護保険	1,509,564	1,414,751		
項目	歳入	歳出	差引	連結実質赤字比率	-	-	-	-	諸収入	142,688	1.7	924	繰出金	630,700	7.8	509,231	後期高齢者医療	295,103	280,818	
3条	804,595,670	684,502,365	120,093,305	実質公債費比率	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 1.6	町債	405,600	4.7									
4条	174,208,260	331,656,912	▲ 157,448,652	将来負担比率	-	-	-	-												
計	978,803,930	1,016,159,277	▲ 37,355,347						歳入合計	8,595,579	100.0	5,535,758	歳出合計	8,147,317	100.0	5,915,583	計	3,733,384	3,579,301	

※「公債費比率」及び「起債制限比率」については、平成30年度から算定しておりません。